

第99回 卒業式を挙



東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク

両学部178人が巣立つ 卒業証書番号No.一九七三三二号に

日本歯科大学第九十九回卒業式(学位記)授与式は、三月下旬両学部において挙行し、一七八名の学士(歯学)を送り出した。あわせて日本歯科大学大学院第四十七回修了式が催され、九名の博士(歯学)に学位記が授与された。また、東京短期大学と新潟短期大学の卒業式も挙行された。

第47回大学院修了式を併催

生命歯学部は、富士見ホールにおいて、大学院第四十七回修了式を併催して挙行された。定刻午前十時、司会の



本学99回目の卒業式で告辞を述べる中原学長

生命歯学部の部は、三 富士見ホールにおいて、大学院第四十七回修了式を併催して挙行された。定刻午前十時、司会の

り、栄えある卒業の証として、学士(歯学)の学位記を授与された。つづけて学術優秀賞十一名、皆勤賞八名、精勤賞二十四名、学術奨励賞十名、臨床実習優秀賞三名に対し賞状等が授与された。

ついで大学院生命歯学研究科委員の砂田勝久教授より、生命歯学研究科博士課程修了生九名の氏名が呼びあげられ、一人ひとりに、研究の成果を証する博士(歯学)の学位記が授与された。

まず第三十七回歯科衛生学科卒業生五十九名と、第四十一回歯科理工学科卒業生四十九名の氏名が呼びあげられ、小口春久学長から栄えある卒業の証として、各学科の代表に短期大学士(歯科衛生学)と短期大学士(歯科理工学)の学位記が授与された。

ついで第三十九回歯科理工学専攻科修了生十四名と第一回専攻科歯科衛生学専攻科修了生六名に修了証が授与された。あわせて、歯科衛生学科卒業生全員に東京都訪問介護員修了証明書が授与された。

ついで小口学長が告辞を述べ、住友雅人生命歯学部長と羽村章附属病院長が祝辞を述べた。



栄えある学位記を授与される卒業生代表(東京)



中原学長から学位記が手渡された(新潟)

東京短期大学

東京短期大学の卒業式は、三月二十三日の午前十時より生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。

新潟短期大学

新潟短期大学の卒業式は、三月二十五日午前十一時より、新潟生命歯学部講堂で挙行された。まず歯科衛生学科卒業生五十名に、下岡正八学長

19回目の訪問学生

マヒドン大学 学生使節6名

本学の姉妹校、タイのマヒドン大学から、今年も男子一名、女子五名の学生が本学を訪れた。同日の入学式に列席し、翌生親善使節として紹介された。



▲中原学長とともに ▼住友生命歯学部長を訪問



今年で十九回目となる。四月六日に新潟生命歯学部を訪れた一行は、翌日の入学式に列席し、翌生親善使節として紹介された。新潟では学内の諸施設や病院を見学、九日に東京に向かい、生命歯学部でも最先端の歯科医療実習を体験した。学術や交歓会などを通じて、本学の教職員や学生たちと交流した。

日本歯科大学 OPEN CAMPUS 2010

～高校生はもちろん、どなたでも参加できます～

◇新潟生命歯学部オープンキャンパス

6/12(土)、7/18(日)、8/28(土)、9/19(日)、11/20(土)

新潟生命歯学部で実施するAO入試の受験には、オープンキャンパスへの参加が必須です(昨年度の参加も可)

新潟生命歯学部 検索 <http://www.ngt.ndu.ac.jp>

◇生命歯学部(東京)オープンキャンパス

7/10(土)、8/19(木)、8/26(木)、10/16(土)、11/3(水)、11/4(木)

生命歯学部 検索 <http://www.tky.ndu.ac.jp>

中原 泉 学長 卒業告辞 (要旨)



臨床医としての心構えを説く中原学長

インターネットを通じて患者さんの意識と受診行動に関するアンケート調査を行った。

その結果、患者さんの八割が、通院中に不快な経験をした。診察に不満を感じたことがあり、そのうちの七割が通院先を変えたという。もちろん患者さんの個人差、誤解やズレが多分にあることは確かだが、このアンケートの回答者の九十九％は歯科医院を受診した経験があり、男性で六十九％、女性では八十二％が不満と不快を感じたと答えている。不満が無いという患者さんは、男女平均して二十％に過ぎなかった。

不快・不満を感じた理由として、治療効果に満足できなかったからが、約五十一％と最も多い。ついで、歯の状態や治療の見直しなどの情報提供が不十分だったから四十四％、その次が、待ち時間が長かったから三十九％であった。この待ち時間は、予約した時間に行つたのにすぐに診てもらえなかった、という不満が多くを占めていた。

その他、痛みを伴う治療が多かったから、歯科医師の言葉遣いや態度に不満を感じたから、歯科医師の説明が分かりにくかったから、治療費が高かったから、スタッフの

言葉遣いや態度に不満を感じたから、医院が清潔感に欠けていたから、通院に不便だったから、近代的な器械設備が整っていないから、院内の雰囲気や暗かったから等々であった。

一方、満足できる歯科医師に巡り合った患者さんは、その歯科医院に今後も通院しようと考えている。患者さんの約六十五％は、そうしたかかりつけ歯科医院を決めている。その歯科医院に今後も通院したいと思ふ理由は何か？という質問に、歯科医師の説明が分かりやすいからが七十四％の第一位であった。

次に、歯科医師の診療技術が確かであると感ずるから六十一％、歯の状態や治療の見直しなどの情報提供に熱心だから五十八％、歯科医師の態度や言葉遣いが丁寧だから五十五％の順で、そうした好感度が理由の多くを占めている。

その他、通院に便利だから、スタッフの態度や言葉遣いが丁寧だから、院内が清潔だから、待ち時間が短いから、治療時に痛みを感じさせないから、サービスに気配りがあるから、サビに気配りがあるから、近代的な器械設備が整っているから、治療費が安いから等々。

以上の良い悪いを較べると、患者さんの不快・不満と好感・満足は裏腹、つまり表と裏であることが分かる。両者に

共通していることは、第一は患者さんへの情報、いいかえれば患者さんが知りたいことを適切に伝えること、それを理解してもらっているか否か、ということである。

そこには、必然的に歯科医師サイドのコミュニケーション能力が問われる。それも多種多様な患者さんがいるから、おのおの患者さんに応じた過不足のないコミュニケーションが求められる。つまり、やり過ぎないや足りない説明を行うことが必要なのである。

要するに、歯科医師のコミュニケーション能力とスキル能力に尽きると言つてよいだろう。ただし、治療効果に関しては、インフォームド・コンセントはマニュアル通りにはいかない。

人には好みと相性があるから、いくらコミュニケーションしても、虫が好かない。

大学院研究科長 修了告辞 (要旨)

生命歯学研究科長 佐藤田鶴子

本年度修了生のそれぞれの研究は、形態解剖学、高分子工学、分子生物学または分子化学的な研究と多彩な研究がなされ、最新の研究成果が出された。

悠久なる地球の自転は、太陽の天球上での見かけの移動をつくり出し、これによって昼と夜が生まれ、また自転によって生ずる慣性力である遠心力や慣性座標系の

力は、地球の自転速度は赤道で時速一七〇〇キロメートルであり、地球が一回自転する時間は、二十三日時間五十六分四・〇六秒となっている。さらに地球の構造上中心部が液体であること、潮の干満と海底との摩擦によって自転速度は段々遅くなっている。一年で十万分の一秒ずつ遅くなり月の公転周期と同期するところまで遅くなって安定すると

考えられている。先日三月三日に発生したマグニチュード八・八のチリ大地震により地球の自転速度、自転時間は百万分の一・二六秒だけ短くなったとする計算結果を米国航空宇宙局NASAが発表している。NASAがジェット推進研究所地球物理学リチャード・グロス博士がコンピュータで影響を計算したところ、地震を起したプレートが大きく動いたため地球の自転時間を変化したとの結果を出した。

このように私どもの毎日多忙で自分たちの小さな数値を扱った人はいない。しかし逆に多くの修了生がマイクロという単位を、百万分の一という単位を、至極当然のようについて研究してきた。修了生の皆さんには、四年前をふりかえってほしい。本日と同じこの富士見ホールに四月に入学式を迎えた自分の中にどのような研究をするのかを、当然天文学の専攻

ではない、相性が悪いという感情は、拭えないというケースはあるだろう。だから、コミュニケーション能力のほうは、百分の患者さんに通じることはあり得ない、と私は思う。私は昨年、三叉神経痛の治療で東京のある医院にしばらく通った。その医師は、パソコンの画面に映した私のカルテをみつけたまま、どうですか？と尋ね、私が変わりありませんと答えると、それで終了した。医師と

の対面（彼は私の顔を見なかつたが）は、三十秒を大切にすべきである。それだけ患者さんと、コミュニケーションする機会を有しているのだから。反面、それだけ患者さんに、人間性を見透かされる立場にあることも忘れてはならない。

終わりに、日本歯科大学第九十九回卒業という永久番号をつけて、社会の荒波に乗り出していく卒業生諸君の健闘を祈る。

指導にあつた研究指導者たちは、各人の活躍を願っている。また、地域歯科医療の学術的リーダーとして活躍する日々を期待している。

最後に私が研究にあたりつつも掛けている、"ものは見ようとしなければ見えないもの、しかし見ようと思えば見えるもの"という言葉は修了生諸君のこれからの人生に贈りたい。



クラス主任の点呼に応え起立する卒業生たち



研究者としての自立を誓う大学院修了生代表

思いもよらなかつただろう。それだけ四年間で思考する方向性がかわってきた。つまり自分の脳能力に変化があつたのだ。今後、修了生のすべてが研究を継続するわけではなく、ある方は病院で、ある方は患者さん直結の臨床歯科に携わっていきとと思う。その際にこの四年間で培ったもの、思考性をこれからの人生に是非生かしてほしい。

歯学部 卒業告辞 (要旨)

新潟生命歯学部 小倉英夫

歯科医師となるには少なくとも六年の年月を必要としており、この六年間、本当によく頑張ってきた。みなさんの努力を高く評価したい。六年間、必死の思いで勉学に励んできたと思う。これから、たくさんのハードルを越えなければならぬが、卒業という、このハードルは人生の中で五指に入るぐらいの高いハードルなのかもしれない。

自主独立、これが本学の創設以来の大事な建学の精神である。多分みなさんは六年間勉強している間、この自主独立が必

要なことがよく分かったと思う。大学での教育は、自分から求めて勉強しないかぎり絶対に伸びない。卒業という高いハードルを越えることができたのは、自分から求めて勉強したからだ。これから研鑽していく際には、自主独立という考え方がより必要になるだろう。

現在の社会情勢は時々刻々変化し、歯科医療も日進月歩のスピードで進歩している。その際に最も必要なことは、自分から求めて勉強していくことだ。周りではいろいろな人々が支えてくれていることを忘れずに、自分から求めて研鑽してほしい。

自主独立で勉強していくことは、専門的なことに限らない。国内や国外の社会状況の変化についても知識の幅を広げてほしい。広範な知識は、患者さんとのコミュニケーションに大きく役立つ。一般的な社会常識が高ければ高いほど、患者さんからの信頼は大きなものになる。

そして社会の状況を客観的にとらえる訓練もしてほしい。それにより患者さんに対する理解も深まり、また自分を理解してもらうこともかなり容易になるだろう。今後一般的な社会常識をより高くもたなければならぬ。これからの母校の先生や研修先で指導してくれ

る先生など、大勢の人たちが諸君を支えてくれるだろう。さらに校友会と歯学会という強い味方ができる。この二つの組織は協力しあつて、研鑽と研修の場を定期的にもつてくれる。そういう恵まれた機会を十分に利用して、社会に大きく貢献できる歯科医師になることを期待している。

に、人の心に種を蒔く情緒豊かな医療人になつていただきたい。君たちの未来は明るく洋々たるものがある。夢は必ず実現する。今後ともさらなる学究や実践に励み、思いやりの心と広い視野を持つこと、そして何にましても命の尊さを肝に銘じ、人類福祉の向上のために活躍されることを祈念する。

先生など、大勢の人たちが諸君を支えてくれるだろう。さらに校友会と歯学会という強い味方ができる。この二つの組織は協力しあつて、研鑽と研修の場を定期的にもつてくれる。そういう恵まれた機会を十分に利用して、社会に大きく貢献できる歯科医師になることを期待している。

先生など、大勢の人たちが諸君を支えてくれるだろう。さらに校友会と歯学会という強い味方ができる。この二つの組織は協力しあつて、研鑽と研修の場を定期的にもつてくれる。そういう恵まれた機会を十分に利用して、社会に大きく貢献できる歯科医師になることを期待している。

東京短大 卒業告辞

学長告辞

東京短期大学学長

小口春久

みなさんの門出をお祝するかのよう、昨日東京地方に桜の開花宣言が出された。本年は一二八名を東京短期大学の卒業生ならびに修了生として世に送りだすことができた。

諸君はわが東京短期大学に学び、教職員、先輩、後輩、友だちと大いに語り、お互いに人間性を高めあつてきた。今年度は短大改修工事が重なり、過密なカリキュラ

ムにもめげずその中で勝ち取った価値ある国家試験両学科全員の合格、これは素晴らしいと思う。歯科技工学科の合格率百パーセントがついに連続二十四年間になった。来年度、全員合格すると四半世紀になる。

専攻科歯科衛生学専攻のみならずは一期生として立派に重責を果してくれた。短期間で研究を成功させ、その成果をまとめて、独立行政法人大学評価・学位授与機構に提出し、小論文試験も見事に合格し、全員晴れて四年制大学卒業と同等の資

格を持つ学士(口腔保健学)の学位を取得し、将来の夢は大きく広がった。今後の活躍をとても楽しみにしている。今日の世界情勢は急激な変化を続け、国家という枠組みを越えて世界の平和を探ろうとしている。一方で紛争は絶えること

はなく、逆に激化していることは否めない。人類の発展の代償となつた深刻な環境破壊のほか、人権問題など、地球規模の課題は山積みされたままだ。君たちにはこのような困難な問題に果敢に立ち向かい、解決しようとする活力は既に備わつて

いると思う。将来に向かつて大きな夢を抱いてほしい。夢を実現するには夢を持ち続けることだ。君たちにこれまで充実した教育を行つてきたと自負している。力がある人から力が出せる人へ、能力がある人から能力を出せる人への教育力重視の指導を行つてきた。

物理学者のアインシュタインは、「真の教育とは学校で習つたことを忘れて残つていくものである」と述べている。われわれの教育が正しかったか否か、それは数年後、君たちがしっかりと証明してくれると確信している。君たちの多くは厳しい医療現場に入るが、医療

人の心を絶対に忘れず、人の心に種を蒔く情緒豊かな医療人になつていただきたい。君たちの未来は明るく洋々たるものがある。夢は必ず実現する。今後ともさらなる学究や実践に励み、思いやりの心と広い視野を持つこと、そして何にましても命の尊さを肝に銘じ、人類福祉の向上のために活躍されることを祈念する。

先生など、大勢の人たちが諸君を支えてくれるだろう。さらに校友会と歯学会という強い味方ができる。この二つの組織は協力しあつて、研鑽と研修の場を定期的にもつてくれる。そういう恵まれた機会を十分に利用して、社会に大きく貢献できる歯科医師になることを期待している。

先生など、大勢の人たちが諸君を支えてくれるだろう。さらに校友会と歯学会という強い味方ができる。この二つの組織は協力しあつて、研鑽と研修の場を定期的にもつてくれる。そういう恵まれた機会を十分に利用して、社会に大きく貢献できる歯科医師になることを期待している。

新潟短大 卒業告辞

学長告辞

新潟短期大学学長

下岡正八

今まで私たちが諸君に教授してきたことは、知識、そして技術、この習得をしようとしたことだ。しかし、実際の現場では患者さんに対する思いやりや親切心は、評価

が難しい。医療は確かにノー・エクスキューズで、「ゴメン、間違つた」では済まない。しかし人間は常に目標志向、環境に対する能動的あるいは探索的

で、これは人間が持つてくる本来の姿である。人は誤りを犯す可能性から逃れることは絶対にできない。そのようなとき

は、SLIP、このスリップは、新たな行為を未来に向かつて生み出すための探索活動と解釈してほしい。だから恐れ

てはいけない。卒業生諸君へ、これから社会に出ては、これから社会に出ては、これから社会に出ては

は、これから社会に出ては、これから社会に出ては、これから社会に出ては

は、これから社会に出ては、これから社会に出ては、これから社会に出ては

は、これから社会に出ては、これから社会に出ては、これから社会に出ては



歯科衛生士として社会への貢献を誓う



修了証を手にする専攻科生(新潟短大)



